

部局名	生涯学習部	所属名	生涯学習振興課	所属長名	鈴木 秀樹	電 話	481-0309
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4090		事務事業名称	総合生涯学習プラザ運営管理事業					短縮コード	経常	4090	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	10	総合生涯学習プラザ費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方自治法・八千代市総合生涯学習プラザの設置及び管理に関する条例・八千代市総合生涯学習プラザの設置及び管理に関する条例施行規則・八千代市財務規則他。						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
①市民の健康増進を図る目的として指定管理者制度を導入し,平成19年4月1日に開設をした。 ②市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するとともに,市民が「いつでも」・「どこでも」・「だれでも」が気軽に利用でき,また,学習の成果を地域社会等で生かすことのできる「生涯学習社会」を形成するための中核的な役割を担う施設として,平成19年4月1日に開設をした。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 開設をして,3年余りが経過し,利用者は年々増加している。今後も利用者の意見等を取り入れ,改善できることは改善していく計画である。					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
						大項目（節）	02	生涯学習					
						中 項 目	01	生涯学習					
						小項目（施策）	01	生涯学習推進体制の充実					
							02	生涯学習機会の拡充					
						細 項 目	03	学習情報の提供					
							04	学習の場の整備					
実 施 計 画 の 計 画 事 業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	全市民。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ①スポーツ施設及び文化施設の貸し出し業務（指定管理者）②主催講座等の開催（5講座）③生涯学習情報の提供（まなびネットやちよ）④情報提供コーナーの一般開放⑤複写機・印刷機の利用（有料）							
	※平成22年度に計画していること： 主催講座の充実，その他21年度と同様。							
意図 （何を狙っているのか）	①市民の健康増進の向上。 ②生涯学習に関する情報の収集及び提供。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	全市民（3月末現在）	人	191,469	194,000	192,570	196,000	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	施設の来観者数	人	139,918	145,000	155,163	160,000	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	施設の来観者数の市民に対する割合	%	73.1	74.7	80.6	81.6	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4090	事務事業名称	総合生涯学習プラザ運営管理事業			所属名	生涯学習振興課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			今後とも、施設のPR等を積極的に行い、施設使用料の増加に努める。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
	☐ 廃止・休止						
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成19年4月から平成34年3月までの15年間の長期に渡る指定管理者制度により、経費の変更は考えにくい。	
			削 減	不 変	増 加		
	成 果	向 上	☐	☐	☐		
		不 変	☐	☒	☐		
		低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
開館時間の延長・施設の利用料金の値下げ等について利用者から要望が出されている。	

所属長コメント	利用者数の増加及び使用料収入のアップに努めてまいります。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		